

三菱レイヨン 2007年度インターンシップ受入内容一覧

2007年5月
三菱レイヨン株式会社 人事部

以下内容は、三菱レイヨン・採用HPよりご確認頂けます。
(<http://www.mrc.co.jp/saiyou/index.html>)

番号	区分	テーマタイトル	部署	学年	必要となる専門知識	テーマ詳細
[1]	研究開発	表面高機能化樹脂の作製と評価	機能材料研究グループ	修士1年	化学に関する知識 (学部卒業程度)	◆以下何れかのテーマ ・メタクリル酸エステルブロックポリマーの合成と評価 ・表面高機能化フィルムの作製と評価
[2]	研究開発	ナノファイバーに関する検討	基礎解析センター	修士1年	高分子物性に関する知識 (学部卒業程度)	◆ナノファイバーの基礎探索と構造・物性解析
[3]	研究開発	エステル合成触媒の評価	機能性ケミカルズ研究グループ	修士1年	有機合成化学に関する知識 (学部卒業程度)	◆メタクリル酸エステル類合成触媒の調製、性能評価、等
[4]	研究開発	エステル合成プロセスの検討	モノマープロセス開発グループ	修士1年	化学工学に関する知識 (学部卒業程度)	◆エステル合成反応速度を実験により取得し、反応装置および精製装置(蒸留塔)の仕様概要を検討
[5]	研究開発	溶融樹脂からの残存モノマー除去の考察	ポリマープロセス開発グループ	修士1年	化学工学に関する知識 (学部卒業程度)	◆溶融樹脂中から残存モノマーを除去するプロセスを対象とした、除去能力の検証実験と解析、考察、等
[6]	研究開発	多孔質膜の高速乾燥手法の考察	精密賦形開発グループ	学部3年 修士1年	機械工学に関する知識	◆水処理用中空糸膜製造工程における乾燥挙動評価、高速乾燥手法の考察、高速化実験、等
[7]	生産技術	未反応原料の回収サイクルプロセスの最適化	化成工場	修士1年	化学工学に関する知識 (学部卒業程度)	◆接触酸化反応プロセスにおける未反応原料の回収方式を選択し、エネルギー効率等を考慮したシミュレーションを実施し、全体最適化を図る
[8]	研究開発	コーティング材料の化学分析・評価	基礎解析センター	修士1年	化学に関する知識 (学部卒業程度) 高分子の分析経験があればなお良い	◆分析機器を用いたコーティング材料の組成構造解析
[9]	研究開発	塗料用環境対応樹脂の開発・評価	機能化学品開発センター	修士1年	化学に関する知識 (学部卒業程度) 有機合成の知見があればなお良い	◆低VOC機能性コーティング材料の開発・評価を通じて、樹脂特性・塗料開発の流れを経験する
[10]	研究開発	電子材料用機能性ポリマーの開発	機能化学品開発センター	修士1年	有機化学に関する知識 (学部卒業程度)	◆導電性ポリマーの合成及び評価、又は電子材料用アクリルポリマーの基礎及び特性評価
[11]	研究開発	光ディスク用ハードコート材料の開発	機能化学品開発センター	修士1年	化学に関する知識 (学部卒業程度)	◆DVDなどの光ディスクを保護する目的で用いられるUV硬化型ハードコート材料の設計・開発・評価を通じて、求められる機能を発現させるための新規材料設計を経験する。合わせて「ユーザー密着型研究開発」の一部を経験する。
[12]	研究開発	UVハードコート材料の開発	機能化学品開発センター	修士1年	化学に関する知識 (学部卒業程度)	◆自動車ヘッドランプレンズの表面保護の目的で使用されるUV硬化型ハードコート材料の開発の一部を経験し、身近な商品に使用されているUV硬化材料の特性を知る。合わせて「ユーザー密着型研究開発」の一部を経験する。
[13]	研究開発	トナー用ポリエステル樹脂の開発	機能化学品開発センター	修士1年	高分子化学 又は有機合成化学に関する知識 (学部卒業程度)	◆トナー用ポリエステル樹脂の重合、トナー試作及び性能評価
[14]	研究開発	複合材料、マトリックス樹脂の特性評価	複合材料開発センター	修士1年	化学に関する知識 (学部卒業程度)	◆以下何れかのテーマ ・複合材料用マトリックス樹脂の硬化成形 ・熱分析機器によるマトリックス樹脂の硬化挙動及び物性評価
[15]	研究開発	複合材料設計と特性評価	複合材料開発センター	修士1年	構造力学に関する知識 (学部卒業程度)	◆複合材料設計の基礎及び複合材料特性評価
[16]	生産技術	炭素繊維複合材料の設計・評価	複合材料工場	修士1年	材料力学、及び化学に関する知識 (学部卒業程度)	◆複合材料の機械特性評価を通じて、新規複合材料の開発、成型品設計の一端を経験する
[17]	エンジニアリング	繊維あるいは樹脂製造設備の診断、解析	三菱レイヨン・エンジニアリング 設備管理部	高専4年 学部3年 修士1年	機械工学 又は電気工学に関する知識	◆繊維あるいは樹脂製造設備を対象に、運転データをサンプリング解析し、設備の健全性および寿命予測を行う
[18]	研究開発	未知化合物の構造解析	基礎解析センター	修士1年	化学、及び機器分析に関する知識 (学部卒業程度)	◆分析機器を用いた未知成分・不純物の構造決定・定量分析
[19]	研究開発	遺伝子組換え微生物の評価	機能性ケミカルズ研究グループ	修士1年	バイオテクノロジー (特に微生物と遺伝子)に関する知識 (学部卒業程度)	◆遺伝子組換え微生物の作製、培養、酵素活性の測定、等
[20]	研究開発	機能性コーティング材料、又は電子材料機能性ポリマーの開発	先端機能材研究グループ	修士1年	高分子化学 又は有機合成化学に関する知識 (学部卒業程度)	◆以下何れかのテーマ ・機能性コーティング材料の調製、硬化、評価 ・電子材料用ポリマーの重合、評価

応募条件	以下の条件、及びプログラム毎の応募条件を全て満たしている方。 ①インターンシップ実施前に、規則の遵守や機密保持等に関する「誓約書」を提出頂ける方 ②インターンシップに関する保険に加入頂ける方
実施期間	[1]、[2]、[3]、[6]、[8]、[14]、[15]…2007年8月20日(月)～8月31日(金) 他のテーマ…2007年8月27日(月)～9月7日(金) 実働7時間45分/日
場所	[1]～[7]：広島県大竹市 [8]～[16]：愛知県豊橋市 [17]：富山県富山市 [18]～[20]：神奈川県横浜市
待遇	交通費実費、食費(遠方の場合)、宿泊場所(会社施設)を手配致します。
募集人数	各1名(合計20名)
応募方法	以下必要事項記入の上、saiyo@post.mrc.co.jp宛メール送信下さい。 必要事項…①氏名、②連絡先、③学校・学部・学科、④専攻分野、⑤(決まっていれば)研究テーマ、⑥応募理由、⑦自己PR、⑧希望テーマ(第三希望まで選択可)
受付期間	7月1日(日)を受付期限と致します。
選考プロセス	書類選考→説明・選考会 尚、説明・選考会は7月下旬を予定しており、書類選考終了後、日程調整をさせていただきます。
問い合わせ先	人事部人事労務グループ 栗尾 宛 TEL:03-5496-3116 E-MAIL:saiyo@post.mrc.co.jp